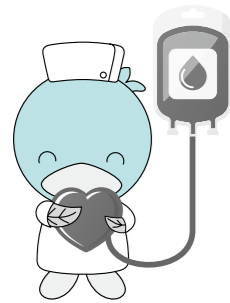
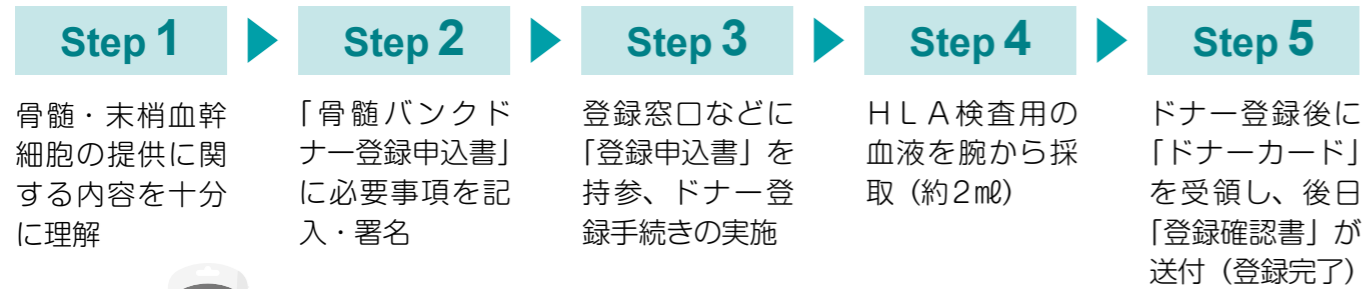


ドナー登録するには？

全国の献血ルームや各地で開催される登録会において、手続きが可能ですが、また、献血バスでも登録できる場合があります。町では、献血の実施にあわせて行っています。

詳しくは、公益財団法人日本骨髄バンクのホームページをご覧ください。



骨髄バンクのドナー登録には以下の要件があります。

- ・骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解しているかた
- ・18～54歳で健康なかた（実際に提供できるのは20～55歳）
- ・体重が男性45kg以上／女性40kg以上のかた



日本骨髄バンク
ホームページ

骨髄移植ドナー支援事業

町では、骨髄などの提供者の負担軽減を図り、骨髄などの移植を推進するため、骨髄または末梢血幹細胞の提供者となったかたとそのかたが勤務する事業所などに対して、助成金を交付しています。

【対象】 次のすべてに該当するかた

- ◎日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業にドナー登録を行い、骨髄などの提供を完了し、骨髄バンクが発行する証明書の交付を受けたかた
- ◎美里町内に住所を有し、住民基本台帳に記載されているかた
- ◎町税などに滞納がないかた

【助成内容】

- ①提供者については、1日2万円
- ②提供者の勤務する事業所などについては、1日1万円
- ※①・②とも、次に掲げる通院または入院の日数で、最長7日間までとなります。

- ◎健康診断のための通院の日数
- ◎自己血貯血のための通院の日数
- ◎骨髄などの採取のための入院の日数
- ◎その他骨髄などの提供に関し、骨髄バンクが必要と認める通院などの日数

【申請書類】

- ◎骨髄移植ドナー支援事業助成金交付申請書（ドナー用または事業者用）
- ◎骨髄バンクが発行する骨髄などの提供が完了したことを証する書類の写し
- ◎事業所申請の場合は雇用の確認ができる書類
- ◎印鑑
- ※骨髄などの提供が完了した日から90日以内に申請してください。



日本の骨髄バンクで骨髄移植や末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも2,000人程度です。1人でも多くの患者さんを救うために、1人でも多くのドナー登録が必要です。命をつなぐ骨髄バンク。「ドナー登録」にご協力をお願いします。

命をつなぐ骨髄バンク

骨髄バンクは、白血病をはじめとする血液疾患などのため「骨髄移植」などが必要な患者さんと、提供するドナーをつなぐ公的事業です。

適合するドナーが見つかる確率は、兄弟姉妹の間でも4分の1、血のつながっていない他人になると数百～数万分の1です。移植を希望するすべての患者さんがチャンスを得るためには、1人でも多くのかたのドナー登録への協力が必要です。

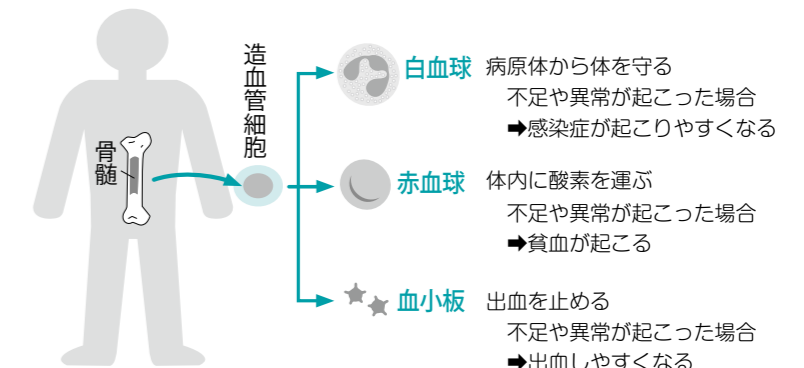
今回は、移植の必要性やその実情、ドナー登録の方法や実際に採取される流れなどをご紹介します。

「骨髄」ってなに？

骨（腰や胸）のなかにある血液の細胞（造血幹細胞）を造る組織です。

私たちの命を維持するうえで欠かせないのが血液です。血液の主な細胞には、白血球、赤血球、血小板などがありますが、これらの細胞は、骨のなかにある「骨髄」という場所で造られています。

骨髄は骨の中の血球の製造工場



「骨髄移植」ってなに？

造血幹細胞に異常が起こり、正常な血液が造られなくなる病気が、白血病や再生不良性貧血などの血液疾患です。免疫が機能せず、感染症にかかりやすくなったり、出血しやすくなったりします。

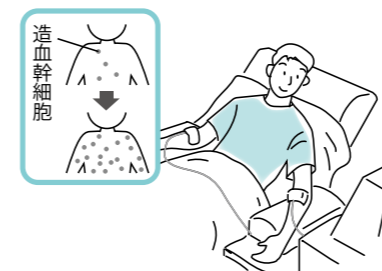
こうした血液疾患の治療法の1つとして、「骨髄移植」があります。ドナー（健康な人）から造血幹細胞を分けてもらい、健康なものに置き換えることで、正常な造血機能を回復させるのです。

骨髄移植は、ドナーに全身麻酔をして注射器で骨髄液を吸引し、採取した骨髄液を患者の静脈へ点滴で注入する治療法です。太い神経である、脊髄に針を刺すことはありません。

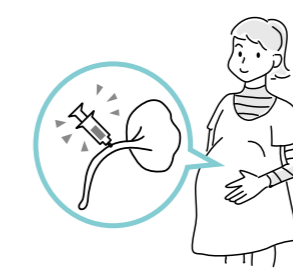


1 腰の骨から注射器で骨髄液を吸引（採取）

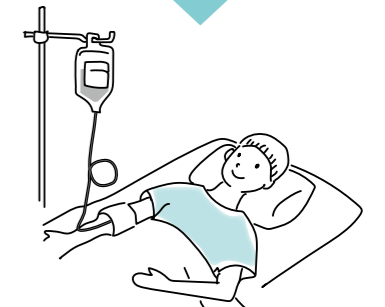
造血幹細胞の移植方法は他にもあります



2 血液成分を分離する機器で造血幹細胞を採取（注射によって末梢血中の造血幹細胞を増やす）



3 出産後、切り離した胎盤側の臍帯から残っている血液を採取し、-196℃の液体窒素の中で保存（移植時に解冻）



数時間の点滴によって、患者さんの静脈から注入（①～③のいずれかによる）

※骨髄バンクのドナー登録で、造血幹細胞を提供する方法は、**1**または**2**の2種類です。